



江戸時代の半ばから後期
にかけ、幕府の政治を変え
る「三大改革」が行われま
した。元号で順に「享保、
寛政、**A**」の改革と呼ばれ、
2番目の「寛政の改革」を
実行したのが、松平定信
でした。

最初の「享保の改革」を
行つた8代将軍、徳川吉
宗の孫で、養子になつたこ

どうぞう！
見て知って ㊦

まつだいらさだのぶ
松平定信 (福島県白河市)

山東京伝や出版元の**B**
も取りしまり、人気作家の
今的美容院に当たるかみゆ
いなどは禁止に、ひな人形
は大きさ制限も。出版物

また、社会の乱れを正す
ため、むだづかいや遊び、
ぜいたくをやめ、つまし
く暮らすよう求めました。

や町民、農民を助ける政治
を行いました。

1787年に政治のトッ
プの老中首座となり、将
軍輔佐をかね、さまざま
政策を実行。物の値段を下
げるなど、困っている武士

本最初の公園といわれま
す。

でも楽しめるようにした白
湖公園は、定信が造つた庭
園で、身分に関係なくだれ
た。銅像がある白河市の南

白河市)の藩主となりまし
た。白河藩 今の福島県

とから白河藩 今の福島県

こいしき」の歌も生まれま
した。(文と写真・墨威宏)

白河藩主だつた定信への
皮肉と、自由だつた意次時
代をなつかしみ、魚に例え
て「白河の清きに魚もすみ

真面目すぎたのか、厳し
すぎたのか、人気がなくなり、
定信は約6年で老中をやめ
ました。

世間は当初、定信が意次
政治を一新してくれと期
待したのですが、禁止はか
りで生活はきゅううつに。

らがばつを受けま
した。

の時代は、役人が有力な商
人らと結び付き、有利に計
らつてもらういろいろがび
こりました。

田沼意次が幕府の中心でし
た。商業を重視した意次
の時代は、役人が有力な商
人らと結び付き、有利に計

した。

定信の登場前は、老中



すみ・たけひろ 1961年、名古屋市生まれ。20年ほど
通信社の記者をした後、新聞や雑誌などの記事を書いて
います。銅像ジャーナリストとしても活動。著書に「銅
像歴史散歩」や「僕らのふたご戦争」。

3 空欄Bに入る人物名を、次の中から選んで記号で書きましょう。

- ㊦ 鶴屋喜右衛門 ㊧ 松平平助
㊨ 須原屋重兵衛 ㊩ 薦屋重三郎

4 空欄Cに入る2文字の漢字を本文中から抜き出して書きましょう。

左の記事を読
んで、下の問い
に答えましょう。

- 1 空欄Aに入る
語句を漢字2
字で書きましょ
う。

- 2 松平定信が
寛政の改革で
とりまつたこと
を、本文中から
15字以内で抜
き出し、最初と
最後の3文字を
書きましょ

～

NIEワークシートのこたえ（2025年12月15日公開）

◆ワークシート「松平定信(社会)」 2025.12.14付 朝刊 20面 解答

- 1 天保
- 2 むだづ ～ いたく
- 3 ㊦
- 4 田沼